

県本部通信

Monthly
Zen-noh
Gunma

4

2021 April
No.227



Contents

事業のうごき

組織機構図

令和3年度事業計画

インフォメーション

アートクッキング

花木流通センター便り

吾妻公園

桐生市宮本町

吾妻公園は、桐生市街地の北西部に位置する植物公園で、桜、チューリップ、花菖蒲など、四季折々の花々が咲き、訪れる人をいやしてくれます。公園の敷地は、御嶽山と雷電山(水道山)に囲まれて、遊歩道によって水道山公園や吾妻山の登山口とつながり、ハイキングコースの起点としても利用されています。



私たち全農グループは、**生産者と消費者を**
安心で結ぶ懸け橋 になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

事業のうごき

畜産農産部

▶酪農畜産課

- 生乳計画生産の推進
- 初妊牛導入推進
- 素牛導入推進
- 種豚導入推進
- 渋川家畜市場の和牛
及び乳用牛の集荷・販売推進

▶米麦特産課

- 令和2年産民間流通麦引取推進
- 令和2年産ビール大麦引取推進
- 令和4年産民間流通麦生産計画取り纏め推進
- こんにやく荒粉・精粉販売推進(入札の実施)

園芸部

▶園芸販売課

- 共計ほうれん草販売 (周年)
- 共計チンゲンサイ販売 (周年)
- 共計味なら販売 (周年)
- 共計ブリックスナイン販売 (6月末日迄)
- 県統一規格共計きゅうり販売 (7月末日迄)

▶販売促進課

- 春野菜販売促進
- もやし類・加工野菜販売促進

▶生産振興課

- JA野菜振興計画の目標達成に向けた取組支援
- TAC活動等JAの向うく体制強化支援
- 農産物の安全・安心確保対策
- 園芸作物生産実証農場の運営

▶園芸資材課

- 夏用出荷資材予約・当用推進
(枝豆・みょうが・おくら・なす・ほうれん草他)
- 春夏用青果物段ボール予約・当用推進
- 果樹袋当用推進(りんご・ぶどう・なし・もも他)
- 農ビ・農ポリマルチ予約・当用推進
- 夏用野菜種子推進
(ほうれん草・枝豆・とうもろこし他)

- セル苗の予約推進(トマト・ナス他)

生産資材部

▶肥料農薬課

- セルフブレンド推進
- 水稻肥料農薬推進
- 茎葉処理除草剤大型規格推進
- バンカーシート推進

▶担い手推進課

- 大規模・未利用生産者に対する
推進機能強化によるJAシェア拡大
- JA総合事業を対象とした
系統事業拡大推進のスキームの構築と効果確認

▶施設住宅課

- 賃貸アパート・個人住宅推進 (周年)
- カクイチ物置・広スペースハウス推進 (周年)
- 住友不動産(株)「新築そっくりさん」推進 (周年)

生活燃料部

▶生活課

- 蓄電池推進 (周年)
- シロアリ防除事業推進 (周年)
- 令和3年度新茶推進 (4月～6月)

▶葬祭総合課

- 会員獲得募集の推進

▶石油課

- オイルキャンペーン (2月～5月)
- 春期タイヤキャンペーン (3月～5月)

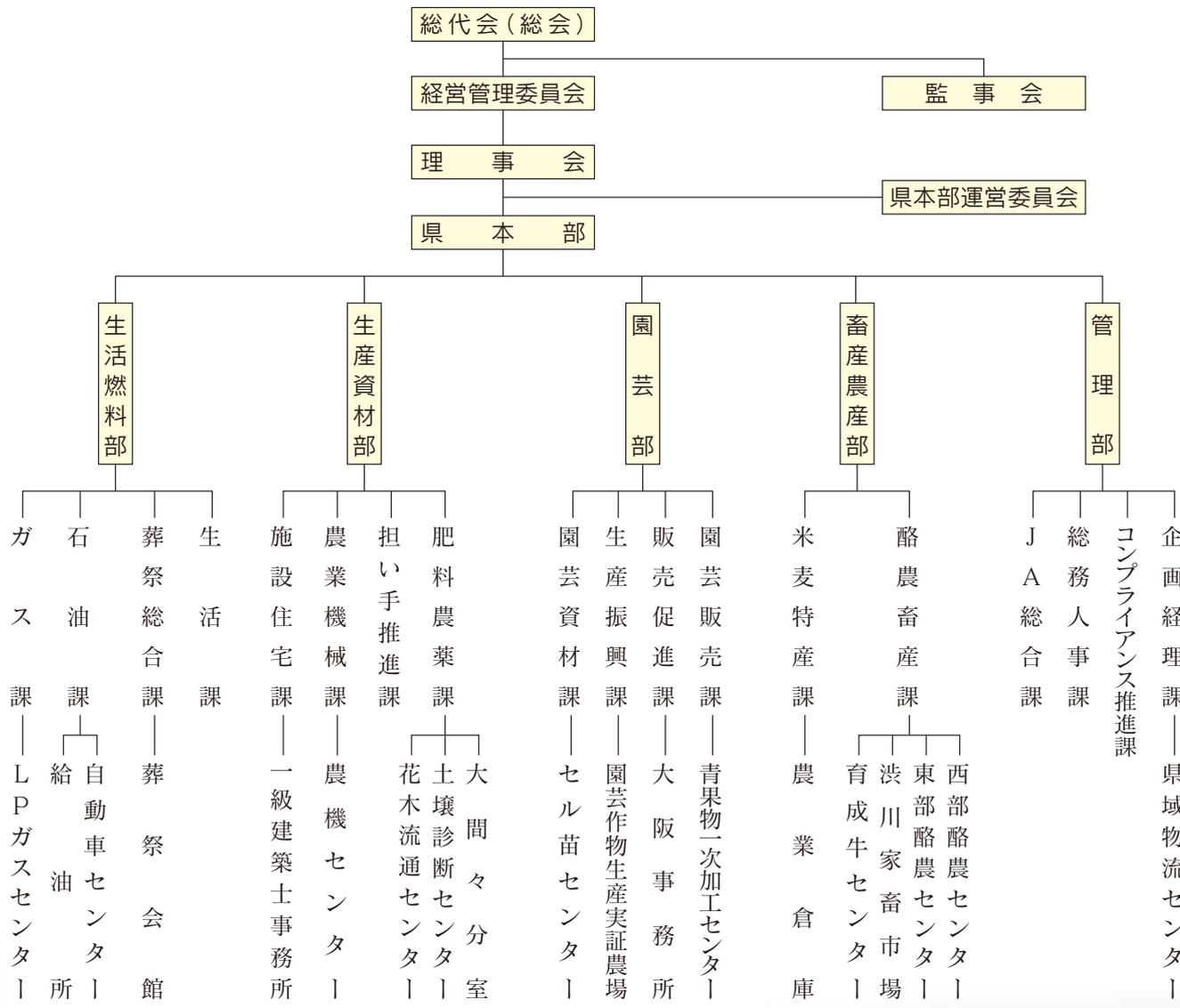
▶ガス課

- ガス・でんき新規獲得推進 (4月～3月)
- 給湯器燃料転換推進 (4月～2月)
- クミアイガス器具推進 (4月～6月)
- ガス器具推進 (4月～12月)

令和3年度 全農群馬県本部 組織機構図



令和3年4月1日



JA全農ぐんま 令和3年度事業計画のあらまし

情勢認識

1. 新型コロナウイルス感染症の拡大という未曾有の事態が、国内外の社会・経済活動を抑制し、国民の暮らし方や働き方を大きく変容。
2. 県内の総農家数や農業就業人口の減少・高齢化がすすみ労働力不足の深刻化。耕地面積は耕作放棄地が増加しているが、法人経営の増加により1経営体あたりの経営耕地面積は増加。
3. 群馬県の人口は、平成17年から15年連続で減少、世帯数は年々増加。共働き世帯・少人数世帯が増加するなか、コロナ禍での外出自粛の影響もあり内食の定着や宅配業者の利用など新しい技術やサービスへの需要が高まる傾向。
4. JAグループを取り巻く環境は、経済事業においては農業生産基盤の縮小にともない取扱高が減少。人手不足等により輸送情勢は厳しさを増し、農産物や生産資材の輸送力の確保が危惧される。JA支援として、全国三連による「経済事業の収益力向上・収支改善に向けた取組」の確実な取り組みが急務。

環境変化に迅速かつ円滑に対応

重点実施策

令和3年度計画では、今次3か年計画で策定した「農業者所得の増大」、「農業生産の拡大」、「地域の活性化」の3つの基本目標に加え、「JAへの支援強化」としてJA経営基盤の強化に向けたJA経済事業の収益力向上・収支改善に向けた施策を提案し、その実践に取り組みます。

1. 販売事業

園芸事業では直販取引先、全農青果センターおよび重点卸売市場を軸とした直接販売や予約相対取引を拡大します。また、酪農事業では更なる集送乳合理化と県内組織再編による酪農家所得増大をすすめます。米麦事業では、米卸と連携した実需者直接販売の拡大や全量播種前契約による麦の安定取引に取り組みます。

2. 購買事業

JAグループのスケールメリットによる肥料・農薬の銘柄・規格集約や、低コスト資材の普及・取扱拡大に取り組みます。また、地域のくらしの支援に向けた基幹フルS Sのセルフ化などマスタープランの実践に取り組みます。

3. 営農事業

大規模経営農家・法人等の担い手ニーズに対応するため、部門を横断した事業提案や経営安定のための取り組みによりJAの出向く体制強化を支援します。また、JAの野菜振興の取り組みおよび安全・安心な農産物の生産体制の確立を支援します。

4. JA支援

「持続可能なJA経営基盤の確立・強化」に向け、中央会・各連合会と連携して営農・経済事業の収益力向上・収支改善に取り組みます。また、事業別マスタープランによりJA域を超える県域・広域課題への対応について支援します。

事業別具体策（県本部取扱高1,346億円）

畜産農産事業（181億円）

1. 酪農畜産事業では農家所得増大のため、育成牛センターでの生産基盤維持拡大対策や生乳事業の更なる合理化を検討します。
2. 米麦大豆事業では実需者ニーズに基づいた米の買取や麦の全量播種前契約締結による生産と供給の安定に取り組みます。
3. 特産事業ではこんにゃくの年間平均販売による有利販売を実施し、多様な生玉取引方法による価格形成力を強化します。

園芸事業（807億円）

1. 園芸販売事業では実需者ニーズに基づく生産提案や青果物一次加工事業などを通じ、販売力強化に取り組みます。需要に即した販売力強化と系統販売基盤の維持拡大に取り組みます。
2. 生産対策事業では野菜の生産拡大に向けた振興対策の取り組みを支援、県内主力作物の収量拡大に向け、園芸作物生産実証農場において環境制御技術などを実証し普及します。
3. 販売促進事業では量販店、実需者等への営業を強化し、Gルート販売の拡充、消費宣伝活用等により販売強化に取り組みます。
4. 園芸資材事業では消費地需要に合った新商品の提案や施設園芸の高品質・高収量化技術を提案・普及します。

生産資材事業（136億円）

1. 肥料農薬事業では資材の銘柄・規格集約や省力・低コスト資材の普及を進め生産資材コストを低減します。花木事業では、植木や野菜苗の生産者との協力関係を強め販売を拡大します。
2. 担い手支援事業では大規模経営農家・農業法人等の担い手ニーズに対応するため、関係部署と連携した事業提案や経営安定のための取り組みを支援します。
3. 農業機械事業では低価格モデル農機の共同購入の実施や進化する農業機械の高度化・複雑化に対応する人材を育成します。
4. 施設住宅事業では施主代行の計画・設計・施工管理による総合機能を発揮し低コストで合理的な施設建設に取り組みます。

生活燃料事業（220億円）

1. 生活事業では組合員・消費者のニーズに適応した生活関連商品を提供します。
2. 葬祭事業ではコロナ対策の徹底と葬祭ホールのリフォーム提案や業務委託に向けて新たな葬祭事業体制に取り組みます。
3. 石油事業では基幹フルSSのセルフ化や営農用燃料の配送拠点の集約・効率化に取り組みます。また、小売機能強化に向けて新たな事業体制を目指します。
4. LPガス事業ではホームエネルギー事業の展開、JAグループ全体の保安強化や営農支援の強化に取り組みます。

農機事業経営委員会



2月25日(木)、農業機械課は令和2年度群馬県農機事業経営委員会を開催し、唐澤会長をはじめ、県内JA組合長・理事長及び当県本部関係役職員が出席しました。

本経営委員会は、平成20年の農機協同事業体発足以来13回目の開催となります。会場では、(1)令和2年度事業報告、(2)令和3年度事業計画、(3)規約等の改定・契約書等の締結、(4)令和3年度役員の選任についての協議が行われ、すべて可決承認されました。

JGAP認証維持審査



園芸作物生産実証農場は昨年3月、キュウリ、ミニトマト、ナスのJGAP認証を取得し、認証から1年が経過した3月5日(金)に維持審査が実施されました。JGAP審査員が取得時からの変更点の他、作業時のルールや生産工程の管理状況を確認し、基準に適合しているか審査が行われました。当日指摘のあった是正事項の改善報告が完了したのち、結果が通知されます。

今後もJGAP認証による効果を実証し、県内JAやGAP認証を目指す農家のGAP勉強の場として活用していきます。

藪塚こだま西瓜土間消費宣伝



今年もいよいよJA太田市藪塚こだま西瓜の出荷が始まり、3月1日(月)に大田市場で土間消費宣伝が実施されました。

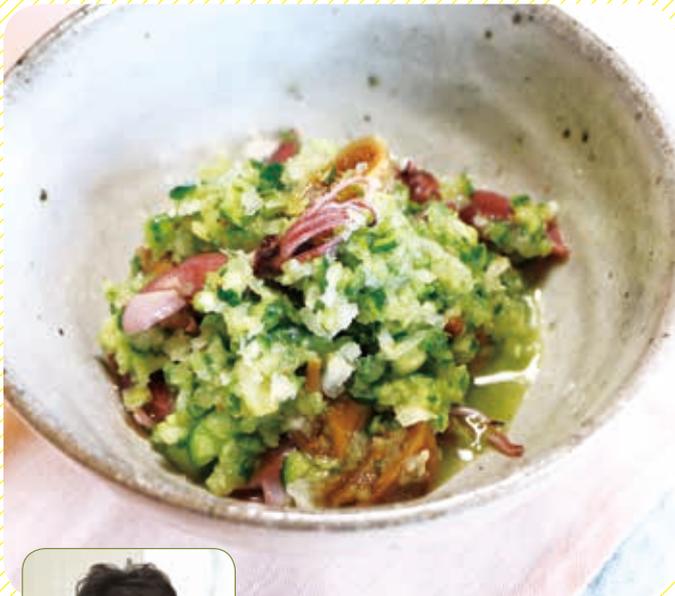
例年は、生産部会やJA太田市の役職員の方々と交え、市場関係者や卸売業者に試食用スイカを配布し、産地のPRを盛大に実施していましたが、今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、展示のみの開催となりました。市場関係者からは、今年の出来具合や出荷ピークの時期などの問い合わせをいただきました。朝7時から初セリが行われ、セリ場は活気に満ちていました。

単為結果性ナス検討会



3月9日(火)、生産対策課は園芸作物生産実証農場で単為結果性ナス検討会を開催し、群馬県と当県本部関係者17人が出席しました。検討会では、農場における単為結果性ナス栽培状況を報告後、農場のナスを視察しながら生育状況や管理方法などを確認しました。県の担当者からは、各地域における取り組みについての発表があり、単為結果性ナスの普及に向けた課題などの意見交換がなされ、担当者間での情報共有が図られました。

きゅうり&干しいちじくとホタルイカの鬼おろし和え



Food adviser **石垣 恵美**

1979年から群馬県家の光講師。
FM局等でも活躍中。

材 料

2人分 (1人分85kcal)

- きゅうり…………… 1.5本
- 大根…………… 80g
- 干しいちじく…………… 2個
- オリーブオイル…………… 小さじ2
- レモン汁…………… 小さじ2
- 塩…………… 小さじ1/4
- ホタルイカ…………… 50g

作り方

- 1きゅうりと大根は洗って、鬼おろし器ですりおろす。
- 2干しいちじくは熱湯で柔らかくなるまでもどし、食べやすい大きさに切る。
- 3ボールに1とオリーブオイル・レモン汁・塩を入れ、干しいちじく・ホタルイカも加え、味を調えて器に盛る。

花木流通センター便り

開催日

内 容

4月 1日(木)～ 4日(日) みのり館リニューアルオープンセール

4月 9日(金)～12日(月) 春の菜園フェア

4月24日(土)～5月5日(水) GW菜園フェア

QRコード決済はじめました!

d払い、aupay、メルペイ、PayPay、LINEPay ご利用出来ます。

(対象店舗：園芸資材館・ふらわーらんど・植木コーナー)

●4月・5月は無休営業 営業時間：9:00～17:00

KABOKU
花 木 流 通 セ ン タ ー

新鮮ぐんま **みのり館**

6月～3月 営業時間 9:00～16:00
毎週火曜日定休



前橋市亀里町1307-1
TEL027-220-2427 FAX027-220-2424

始まっています/みんながトクする

JAでんき

JAグループだから
簡単!安心!安い!



JAでんきとは

組合員のみなさまが日々ご利用されている電気

料金をお安くするために、JAグループが取り扱う電気メニューです。

切り替え簡単、JA口座をそのままご利用できます。

お申し込み・ご相談はお電話、またはお近くのJAでんき代理事業者へ。
おトクな料金メニューをご紹介します。

お手続きも図の
担当者が
直接
ご訪問

切替は簡単!

step 1

所定の申込書と
検針票の準備

※現在のご契約内容が分かるもの

step 2

JAでんき代理事業者
または
JAでんき担当者へ提出

※お電話には電力会社への取替連絡などを
含めお手続きは一通り完了いたします。

step 3

指定メールアドレスへ
切替日程等
ご案内送付

※指定メールアドレスなどドメイン設定を
行う必要がある場合があります。
お問い合わせください。
(※お申し込みを念のためご確認ください)

詳しくはこちらから!

<https://zenoh-energy.co.jp/ja-denki/>



【県本部通信】における個人情報の取扱いについて

【県本部通信】に投稿いただいた方の個人情報は、プレゼントの発送やお返事、紙面での紹介に使用させていただきますのでご了承ください。また、これらの個人情報は前記の目的以外には使用せず、ご本人より事前に同意をいただいた場合以外には一切開示いたしません。

自由なご意見・ご感想をお寄せください。

(あて先) 〒379-2147 群馬県前橋市亀里町 1310 番 JA 全農ぐんま「県本部通信」係まで
E-mail : info-gunma@gm.zenoh.or.jp ※JA メール等でも結構です。